

ひとごとじゃないよ 思いがけない妊娠



にんしんSOS東京のスタッフ。中央が中島かおりさん。
相談窓口は☎03・4285・9870（午後4時～午前0時）、メールはsodan@nsost.jp（24時間以内に返信します）

中高生になると、男女とも体が成長して大人に近づきます。女性の場合、妊娠できる体になっていきます。ただ、自分の意思に反して思いがけず妊娠するということは避けたいものです。妊娠・出産の相談・支援活動をしている「にんしんSOS東京」の代表理事、中島かおりさんに話を聞きました。

（編集委員・根本理香）

窓口相談、2年で千人

にんしんSOS東京は2015年12月に電話やメールによる相談支援窓口を開設しました。今年2月までに約1100人

からの相談がありました。中高生からは全体の15%ほどで、「妊娠したかもしれない」「生理が遅れている」という内容が約6割。実際に妊娠していた高校生もいたそうです。

「思いがけない妊娠なんて、私には関係ない」と思う人がいるかもしれませんが、「だれにでも起こりうる」と中島さんは言います。付き合

っている相手や友達から性行為を強要されるかも

正しい性知識で身を守る

思いがけない妊娠をしないため、まずは性に関する正しい知識が必要です。性行為の目的は①子孫を残すための②親愛の情を交わす、コミュニケーションのため③暴力、支配の手段として、と大きく三つに分類されます。

これまで性教育では①の意味が強調されてきました。しかし、「親愛の性行為」②もある。それには避妊と相手の同意

しなければならないし、犯罪に巻き込まれる可能性もあります。信頼していた周りの大人などから被害を受けるケースもあります。

りしている場合、強要することは犯罪であり、人権を侵害していることを忘れないでください。自分の生理や射精、妊娠や避妊について正しく知ることが必要です。自分の体がどう変化しているか、だれもが不安だと思いますが、正しく知ることが安心できるように

一人て悩まないで
もしも「妊娠したかな」と思ったら、「自分のせいで」と抱え込まず、だれかを頼っていい。名前を言わないで相談してもいいし、秘密は守ります」と中島さん。親など身近な人には相談できない場

合には、にんしんSOS東京をはじめとする民間団体や、各地の自治体でも相談を受け付けています。全国妊娠SOSネットワークのサイト（<http://zeninnet-sos.org/>）から各地の相談窓口を探せます。

◆訂正 11月号の面の福島県富岡町の記事で、「町立第二中学校」とあるのは町立富岡第二中学校の誤りでした。訂正して、お詫びします。

4月から

朝日中高生新聞は4月も読者に寄り添った紙届けします。

◆中高生の視点でニ